

今成委員提出資料

アルコール関連問題にとりくむ主な民間団体

アルコール関連問題にとりくむ主な民間団体〈一覧〉

自助グループ	アルコール依存症本人	公益社団法人 全日本断酒連盟 AA(アルコホリクス・アノニマス) 一般財団法人日本禁酒同盟
	家族	公益社団法人 全日本断酒連盟 Al-Anon(アラノン) ファミリーズアノニマス など
	アダルト・チルドレン	アラノン AC/アラティーン(十代) ACoA ACA ACODA など
予防・啓発団体	NPO 法人 アスク(アルコール薬物問題全国市民協会) * 通称 ASK イッキ飲み防止連絡協議会 NPO 法人 はあとスペース ※飲酒運転防止(福岡県) 公益社団法人 全日本断酒連盟 リカバリー・パレード「回復の祭典」実行委員会 こわれ者の祭典 日本禁酒禁煙協会 など	
相談支援団体	AKK(アディクション問題を考える会) ※電話相談・相談例会 公益社団法人 全日本断酒連盟 ※電話相談・相談例会 NPO 法人 アスク(アルコール薬物問題全国市民協会) * 通称 ASK ※電話ガイド 財団法人 日本キリスト教婦人矯風会 ※シェルター など	
回復施設団体	全国マック協議会 アルコール・薬物施設連絡会 公益社団法人 全日本断酒連盟	
職能団体	一般社団法人 日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会(ASW) 日本アルコール看護研究会 日本アディクション看護学会	
関連団体 ネットワーク	アル法ネット(アルコール健康障害対策基本法推進ネットワーク) 日本アルコール問題連絡協議会	

各団体発足の経緯

1. 自助グループなど

日本では長い間、アルコール依存症はアル中と呼ばれ、病気ではなく「性格の問題」とみられていた（今でも、こうした偏見は社会に根強く残っている）。

自助グループの誕生によって、そんな暗闇に光がさしはじめる。

昭和32年に東京断酒新生会、昭和33年には高知県断酒新生会が発足。昭和38年11月10日に「全日本断酒連盟」が結成される。昭和40年代、全断連初代会長・松村春繁の全国行脚で、断酒会は全国に広がっていく。

一方、昭和49年には、アルコール依存症の回復者であるアメリカ人神父の尽力で「AA」が発足、12ステッププログラムが日本でスタートする。

昭和53年には、12ステップを使った回復施設みのわマックが誕生し、全国に広がっていく。

昭和55年には同じく12ステップの家族グループである「アラノン」が正式に発足。同年にアラティーン、昭和58年にはアラノンACが始まった。

平成以降のアダルト・チルドレン（AC）ブームにより、各地にACグループが誕生。アルコール依存症家族から機能不全家族へと範囲を拡大していく。

2. 予防啓発・相談支援団体

昭和58年、依存症家族と援助者らが中心になり設立した市民団体ASKは、正しい知識の普及によるアルコール依存症の偏見是正、アルコール関連問題の発生・進行予防をめざす。折しも酒類の低アルコール化が進み、中高生の飲酒コンパやイッキ飲みがブームとなった時代で、教育・酒類の社会規制などの一次予防に踏み込んだ。平成17年にはASK内に飲酒運転対策特別委員会を設置し、平成21年にはASK飲酒運転防止インストラクター養成事業を開始。

平成4年、イッキ飲ませ被害者遺族がイッキ飲み防止連絡協議会を発足。ASKが事務局を担い、翌年、大学向けのキャンペーンを開始する。

一方、昭和61年に発足したAKKは、アディクションに範囲を広げ、ボランティアを養成して電話相談と相談例会を開始する。

各地の断酒会も、相談例会・電話相談、学校での体験談講演、地域啓発活動などを実施。

3. 連絡会と関係者ネットワーク

昭和45年、全断連の要請に応え、日本アルコール・薬物医学会が関連団体に連携を呼びかけて、「日本アルコール問題連絡協議会」が発足する。

また治療・援助現場で、横のつながり・情報交換・交流を求める動きが起き、昭和54年、関西アルコール医療研究会が誕生。その動きが各地に広がって全国規模となり、「日本アルコール関連問題学会」の設立へとつながる。その後、「日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会」（昭和61年）、「日本アルコール看護研究会」（平成3年）、「日本アディクション看護学会」（平成14年）と職種ごとのつながりが組織化された。

このような歴史を背景に、平成24年5月、基本法推進のため、「アル法ネット（アルコール健康障害対策基本法推進ネットワーク）」が結成された。

文責：ASK 今成知美

民間団体の活動の〈例〉

1. 再発防止／進行防止——自助活動・相談活動

全日本断酒連盟	各地の断酒会による例会・電話相談、研修会・市民公開講座等の開催 医療機関・行政・刑務所など関係機関との協力 作業所やグループホーム等の運営
AA	ミーティングの開催、ラウンドアップ等の開催 医療機関・行政・刑務所など関係機関との協力
全国マック協議会	施設の運営、研修会の開催等
AKK	電話相談・相談例会
ASK	電話ガイド

2. アルコール依存症からの回復のアピール・偏見是正

全日本断酒連盟	アルコール関連問題啓発週間街頭キャンペーン 46 都道府県で、飲酒運転防止や基本法をアピールするチラシ等を街頭配布 酒害啓発全国大会、ブロック大会、市民公開セミナーの開催
リカバリー・パレード「回復の祭典」実行委員会	リカバリー・パレード「回復の祭典」 依存症や心の病からの回復が可能であることを社会にアピールするため、当事者・支援者が街頭パレードを行なう 平成 26 年には東京・広島・北九州・仙台で開催

3. 発生予防——教育・啓発

ASK	ASK飲酒運転防止インストラクター養成事業 飲酒運転につながる飲酒習慣の変容を促すため、職場や地域にアルコールの基礎知識を広め、節酒の方法を指導するインストラクターを養成している。平成 21 年に日本損害保険協会の助成で開始し、平成 26 年度末でインストラクター数は 2469 人に達している。 内閣府・警察庁・法務省・国土交通省・厚生労働省・文部科学省等が後援
イッキ飲み防止連絡協議会	イッキ飲み・アルハラ防止キャンペーン 若者の急性アルコール中毒死を防ぐために、イッキ飲ませ被害者遺族が平成 4 年に団体を立ち上げ、平成 5 年から大学向けの啓発キャンペーンを開始した。ASKが事務局を務め、全国大学生生活協同組合連合会と酒類業界が協力している。 内閣府・文部科学省・厚生労働省が後援
全日本断酒連盟	学校への体験談講演の提供